

静岡高等学校 教諭 若林真理子
教諭 落合 信男
他、機械科職員

1 研究題目

蕎麦切り包丁の製作

2 製作過程

(1) 刃部の製作

①ステンレス

板材をレーザー加工でくり抜く。

(レーザー加工機は相川鉄工の機械を借用)

②フライス盤で刃面を斜めにカット

③蕎麦切り用なので、硬さはそれほど要求されないため、表面のみ焼入れを行った。

④刃面をグラインダで手仕上げ

(2) 取っ手部の製作

①形状は木材をレーザーで加工

②刃を挟むための切込みと固定するための穴あけを行う。

(3) 棚の製作

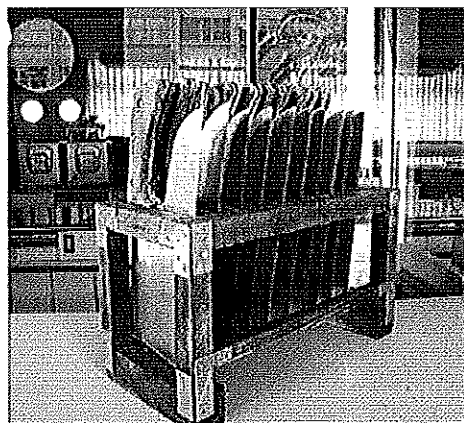
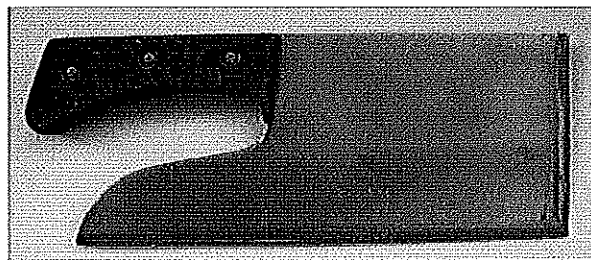
10 本の蕎麦切り包丁を整理しておく棚を木材で製作

3 蕎麦打ち体験

蕎麦打ちの職人にも見ていただいたが、うまくできているとお褒めの言葉をいただいた。製作した蕎麦包丁で切った蕎麦の味は格別であった。

4 成果

家庭科実習で使われる道具を製作したことで、機械科教員の相互の研修になったことの他、学校全体の活性化に役立った。



研究費内訳

材料費・・・刃部（ステンレス板材）

t 5×500×500 単価 16,630 円

2 枚 計 33,260 円

その他、木材、薄板材、ねじ類等を使用した、それらは実習

工場内の破材や廃材を利用した。

